

付表1) 精巣胚細胞腫瘍の組織分類の新旧比較

精巣腫瘍取扱い規約第2版	精巣腫瘍取扱い規約第3版
1) 精細管内胚細胞腫瘍 (Intratubular germ cell neoplasia) 2) 単一組織型 (Tumors of one histological type) ① セミノーマ (Seminoma) ② 精母細胞性セミノーマ (Spermatocytic seminoma) ③ 胎児性癌 (Embryonal carcinoma) ④ 卵黄嚢腫瘍 (Yolk sac tumor) ⑤ 絨毛性腫瘍 (Trophoblastic tumors) a) 絨毛癌 (Choriocarcinoma) b) Placental site trophoblastic tumor ⑥ 奇形腫 (Teratomas) a) 成熟 (Mature) b) 未熟 (Immature) c) <u>悪性化 (With malignant transformation)</u> ⑦ 多胎芽腫 (Polyembryoma) 3) 複合組織型 (Tumors of more than one histological type)	1) 精細管内悪性胚細胞 (Intratubular malignant germ cells) 2) 単一型 (Tumors of one histological type, pure forms) ① セミノーマ (Seminoma) 亜型: 合胞性栄養膜細胞を伴うセミノーマ (Seminoma with syncytiotrophoblastic cells) ② 精母細胞性セミノーマ (Spermatocytic seminoma) 亜型: 肉腫を伴う精母細胞性セミノーマ (Spermatocytic seminoma with sarcoma) ③ 胎児性癌 (Embryonal carcinoma) ④ 卵黄嚢腫瘍 (Yolk sac tumor) ⑤ 多胎芽腫 (Polyembryoma) ⑥ 絨毛性腫瘍 (Trophoblastic tumors) a) 絨毛癌 (Choriocarcinoma) b) 胎盤部栄養膜細胞性腫瘍 (Placental site trophoblastic tumor) ⑦ 奇形腫 (Teratomas) a) 成熟奇形腫 (Mature teratoma) 皮様嚢腫 (Dermoid cyst) b) 未熟奇形腫 (Immature teratoma) c) <u>悪性部分を伴う奇形腫 (Teratoma with malignant area)</u> 3) 混合型 (Tumors of more than one histological type, mixed forms)

付表2) 精巣性索/性腺間質腫瘍の組織分類の新旧比較

精巣腫瘍取扱い規約第2版	精巣腫瘍取扱い規約第3版
性索/間質腫瘍 (Sex cord/stromal tumors) 1) 高分化型 (Well differentiated forms) ① ライディック細胞腫 (Leydig cell tumor) ② セルトリ細胞腫 (Sertoli cell tumor) a) Large cell calcifying Sertoli cell tumor ③ 顆粒膜細胞腫 (Granulosa cell tumor) a) 成人型 (Adult type) b) 若年型 (Juvenile type) ④ 莢膜細胞腫 (Theca cell tumor) 2) 混合型 (Mixed forms) 3) 不完全分化型 (Incompletely differentiated forms) 4) 未分化型 (Undifferentiated forms)	性索/性腺間質腫瘍 (Sex cord/gonadal stromal tumors) 1) 単一型 (Pure forms) ① ライディック細胞腫 (Leydig cell tumor) ② セルトリ細胞腫 (Sertoli cell tumor) 亜型: a) 大細胞性石灰化セルトリ細胞腫 (Large cell calcifying Sertoli cell tumor) b) 高脂質性セルトリ細胞腫 (Lipid-rich Sertoli cell tumor) ③ 顆粒膜細胞腫 (Granulosa cell tumor) a) 成人型顆粒膜細胞腫 (Adult type granulosa cell tumor) b) 若年型顆粒膜細胞腫 (Juvenile type granulosa cell tumor) ④ 莢膜細胞腫/線維腫群腫瘍 (Tumors of the thecoma/fibroma group) 2) 不完全分化型性索/性腺間質腫瘍 (Incompletely differentiated sex cord/gonadal stromal tumors) 3) 混合型 (Mixed forms) 4) 分類不能型 (Unclassified forms)

を示すところについてなされることが望ましい。

注11) 本判定基準は、胃癌および肺癌の組織学的治療効果判定基準（胃癌研究会1985, 日本肺癌学会1987）を参考として作成した。

注12) 精巣腫瘍では転移巣の組織型がしばしば原発巣の組織型と異なるので、まず組織型を記載する。

注13) 胃癌および肺癌の治療効果判定基準は、変性、壊死や瘢痕と、生存癌組織の量的割合をもとにGrade分類されている。

しかし、精巣腫瘍は、未治療の原発巣や転移巣においても、種々の程度にこれらの変化を伴っており、特に悪性度の高い胎児性癌ではこの傾向が強い。

また、いわゆる Burned-out tumor のように、未治療の原発巣が壊死や瘢痕で完全に置き換わっているような症例も経験される。

したがって、これらの変化を認めた場合、治療によるものか、自然のものかを識別することは困難なことがある。しかし、ここでは便宜的に、変性壊死、肉芽腫様病変や、瘢痕の出現を治療の効果とみなし、残存する悪性腫瘍細胞の割合で、Grade分類することにした。

ただし、間質を含む広範な凝固壊死は循環障害に基づくものと考えられ、治療によるものとは考えるべきではないので、量的割合の中には入れない。

注14) 「Viableな」とは、生存するという意味である。しかし、変性腫瘍細胞が生存するか否かの判断は現時点ではきわめてむずかしい問題である。少なくとも、腫瘍細胞が膨化して核も不明瞭となり陰影状を呈するものや、核の著しい濃縮や崩壊を示すものは生存しえないものと思われる。

注15) 精巣腫瘍では治療後の転移巣が、よく成熟した多房性囊胞性奇形腫になっていることがある。これが治療による変化なのか、自然の変化なのかの判定はむずかしい。いずれにしても、理論的には、放射線療法や化学療法の積極的な追加はもはや無効な成分とも思われる。

したがって、本基準で「悪性腫瘍細胞の残存」という場合の悪性腫瘍には、成熟奇形腫を含めないことにする。

10 RECIST 評価法

Response evaluation criteria in solid tumors (RECIST) working groupは、従来のWHO方式による2方向測定での効果判定では、評価可能病変の選択、大きさ、数に共通の規定がないことが問題であるとし、新しい判定法を提唱している¹⁾。今後、各種癌における世界標準になると考えられ精巣腫瘍でも導入可能であり、ここにその概要を示す。

通常の計測法で腫瘍の最大径が20 mm以上、ヘリカルCTで10 mm以上の病変を

泌尿器科・病理
精巣腫瘍取り扱い規約

定価(本体 4,000 円＋税)

1984 年 7 月 30 日 第 1 版発行
1997 年 3 月 20 日 第 2 版発行
2005 年 3 月 31 日 第 3 版第 1 刷発行
2006 年 4 月 30 日 第 2 刷発行
2007 年 8 月 31 日 第 3 刷発行
2010 年 7 月 15 日 第 4 刷発行
2013 年 4 月 10 日 第 5 刷発行

編 者 日本泌尿器科学会
日本病理学会

発行者 古 谷 純 朗

発行所 金原出版株式会社

〒 113-8687 東京都文京区湯島 2-31-14

電話 編集 (03) 3811-7162

営業 (03) 3811-7184

FAX (03) 3813-0288

振替口座 00120-4-151494

©1984, 2005

検印省略

Printed in Japan

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

ISBN978-4-307-43037-1

印刷：(株) 教文堂／製本：永瀬製本所

JCOPY <(株) 出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は、著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

小社は検印または貼付紙をもって定価を変更いたしません
乱丁、落丁のものはお買上げ書店または小社にてお取り替えいたします

泌尿器科・病 理

精巣腫瘍取扱い規約

2005年3月【第3版】

General Rule for Clinical and
Pathological Studies on
Testicular Tumors

March 2005

(The 3rd Edition)

Japanese Urological Association

The Japanese Society of Pathology

日本泌尿器科学会 日本病理学会／編



金原出版株式会社